

e-モニターアンケート結果報告書

| | |
|--|---------------------------------|
| アンケート名称 | 創エネ・省エネの取り組みや気候変動への対策等に関するアンケート |
| 担当部・課名 | 環境部 総合環境課 |
| アンケート結果の市政への反映状況 | |
| <p>今回は、令和4年11月に実施したアンケート（以下、「前回アンケート」という。）に引き続き、市民が地球温暖化の抑制や環境変化への適応にどれくらい取り組んでいるのか、またこれらの取り組みを推進していくために行政に何を求めているのかを調査しました。また、「いちかわ環境フェア」において、どのような啓発内容に興味があるのかを調査し、今後の取り組みの参考にさせていただくために実施しました。</p> <p>最初に「カーボンニュートラル」について伺いました。「カーボンニュートラル」の内容を知っている、言葉を知っているという回答者は92.6%という結果になり、カーボンニュートラルの認知度が高いことが分かりました。しかしながら、7.4%にあたる人は「カーボンニュートラル」という言葉を知らないことから、引き続きカーボンニュートラルの周知に取り組んでいく必要があると感じました。</p> <p>次に、「創エネ」については、内容を知っている、言葉を知っていると回答した人が70.1%と、前回アンケートの61.2%から上昇するという結果になりました。</p> <p>一方で、29.9%の人は「創エネ」という言葉を知らないことから、二酸化炭素排出量削減目標と「創エネ」に関する認知度向上に向け、更なる周知が必要であることが明らかになりました。</p> <p>続いて、「省エネ」への取り組みについては「いつも取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」人の割合は88.8%となり、前回アンケート実施結果（88.5%）からほぼ横ばいでした。</p> <p>「省エネ」の具体的な取り組みについては、選択した人が多かった項目順に「シャワー水量の調節」が71.2%、「消灯の徹底」が58.0%、「パソコンのスリープモードの利用」が56.2%となりました。</p> <p>前回アンケートでは「シャワー水量の調節」、「食器洗い時の水量調節」、「パソコンのスリープモードの利用」の順であったので、取り組み項目に多少の変化が見られました。</p> <p>「創エネ」「省エネ」の普及について、市に求めることは、選択した人が多かった項目順に「市民・事業者の太陽光発電設備など導入への補助額拡大」が28.3%、「廃棄物リサイクルの推進」が</p> | |

27.2%、「公共交通・カーシェアの利用促進」が 21.3%となりました。

前回アンケートでは、「建物の省エネ改修に対する補助額の拡大」、「公共交通・カーシェアの利用促進」、「廃棄物リサイクルの推進」であったことと比べると、創エネを推進する施策を求めるように変化していることが伺えます。

また、市に発信して欲しい情報は、「省エネによる節約効果」が 46.4%、「創エネによる節約効果」が 44.9%、「省エネの取り組み方（日頃の生活の工夫）」が 39.8%の順でした。

次に、気候変動への対策として市が行うべきことは、回答が多かった順に「ヒートアイランド対策」が 44.3%、「農作物の品質や収穫量、漁獲量への対策」が 37.0%、「洪水、高潮・高波などへの対策」が 34.9%の順となり、暑熱対策や食物対策、災害に対する備えに関心が高いことが伺えました。

最後に、いちかわ環境フェアで参加したいイベントについては、「省エネ体験ブース」が 35.8%、「ごみ減量の工夫クイズ」が 34.2%、「発電のための体験ブース」が 23.0%の順となり、体験しながら学べるブースの人気の高いことが伺えました。

また、環境フェアの開催時期については、「4～6月」が 34.8%、「いつでも良い」が 32.6%、「7～9月」が 18.4%の順となり、上半期の実施を希望している人が多いことが伺えました。

本アンケートの結果や意見を踏まえながら、今後は 2050 年のカーボンニュートラルシティの達成に向けて、地球温暖化対策実行計画や気候変動適応計画を策定していくとともに、環境フェア等を通して地球温暖化対策の周知・啓発に努めて参ります。

ご協力ありがとうございました。